

たがじょう

市議会だより

本では手に入らない貴重な絵本や
な芸術品ともいえる美しい絵本、
で翻訳されている絵本など、
70言語の絵本を展示しています。
とってご覧いただくことができます。
日本語訳本を見比べてみたり、
外国ではどう表現されているかを
りする楽しさもあります。
文化や慣習、物、人、場所などを
こともできるでしょう。

コンシェルジュのご案内します

毎日、多言語による絵本の
読み聞かせを行っています。
さまざまな国の言語の響きやリズムを
お楽しみください。
●11:00~ ●15:00~ ●18:30~

第1回定例会結果
一般質問

あんなことこんなこと議論の足跡



2016多賀城世界絵本展

No.95

平成28年(2016年)
5月1日発行

創造的復興の後半期へ突入

大規模復興事業の本格化

一般・特別・企業会計当初予算総額

510億4,700万円

会計の種類		28年度予算額	伸率
一	般 会 計	270億6,000万円	△7.1
特 別 会 計	災害公営住宅整備事業	20億1,300万円	△80.1
	国民健康保険	72億3,600万円	△1.9
	後期高齢者医療	5億8,000万円	3.2
	介護保険	40億円	5.9
	下水道事業	76億9,900万円	82.8
	小 計	215億2,800万円	△17.3
企業会計	水道事業	24億5,900万円	0.7
伸率(%)は、平成27年度当初予算との比較です。			

- 総合治水対策事業
- 緊急避難路・物流路（二路線）整備事業
- 宮内地区土地区画整理事業
- 大区画ほ場整備促進事業
- 津波復興拠点整備事業

再生期三年度目の取り組みは

平成 28 年第 1 回定例会結果

平成 28 年度の市の事業と予算を審議する第 1 回定例会が、2 月 9 日から 3 月 8 日までの会期で開催され、市民生活に密着した議案などを審議しました。

子ども医療費助成の拡充案を可決

3 月 8 日、市議会定例会本会議で、「多賀城市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」の審議が行われました。審議の結果、全会一致で可決されました。

この条例は平成 27 年第 4 回定例会で日本共産党と市民クラブの 5 名の議員が提出し、文教厚生常任委員会に付託されてきました。

原案は、通院助成対象者を「中学校 3 年生までとする」というものでしたが、委員会の審査の中で、本市の厳しい財政状況を考慮すべきとの意見があり、拡充幅を「小学校 6 年生までとする」修正案で可決され、本会議へ報告されたものです。

条例改正のポイント

子ども医療費助成の対象年齢を拡充しました。

現在 【通院】 小学校 3 年生まで無料

【入院】 中学校 3 年生まで無料

改正後

《通院》 小学校 6 年生まで無料

《入院》 中学校 3 年生まで無料

※助成拡充開始は 10 月からです。

意見書

市議会が意見書を

国に提出しました

『子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫補助金減額調整措置の廃止を求め
る意見書』

意見書の要旨

自治体が窓口負担を無料にするために、子ども医療費助成をした場合、国民健康保険の国庫補助金が減額されています。

厳しい財政状況のなかでも自治体は子育て支援のため助成拡大の努力をしています。

すべての子どもが必要な医療を必要な時に受けられるように、各自自治体への国庫補助金減額調整措置を廃止するよう要望します。

請願・陳情

市民のみなさんの声を直接議会に届けることができます。請願や陳情を活用してまちづくりへ参加しましょう。

今定例会では陳情 1 件が報告されました。

陳情

◆軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情



第1回定例会 市長が提出した議案

1	専決処分承認を求めることについて（多賀城市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例） 市民税と特別土地保有税の減免申請書に個人番号の記載を必要としないとする改正をしました。
2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員に高橋正至氏（浮島）と平井節子氏（志引）を推薦することに同意しました。
3	多賀城市行政不服等審査会条例について 第三者機関として行政不服等審査会を設置しました。
4	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について 行政不服審査法が改正されたことに伴い関係条例を改正しました。
5	多賀城市個人番号カードの利用に関する条例について 個人番号カードに印鑑登録証の機能を付加し、自動交付機で利用することができる条例を制定しました。
6	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について 学校教育法で新たな学校の種類とされた小中一貫教育を行う「義務教育学校」を、条例に追加しました。
7	職員の給与に関する条例及び多賀城市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について 地方公務員法の改正に伴い、職員の職務の級の分類表を改正しました。
8	多賀城市立図書館運営審議会条例について 市立図書館が指定管理者の運営となることから、第三者委員会として図書館運営審議会を設置しました。
9	多賀城市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について 平成28年4月からの組織改編に伴い、子ども・子育て会議を所管する部署が変更されました。
10	多賀城市老人憩の家条例を廃止する条例について 都市計画道路史都中央通線を整備することから老人憩の家を廃止します。
11	多賀城市消費生活センターの運営等に関する条例について 消費者安全法の改正により、市に設置している消費生活センターの条例を制定しました。
12	多賀城市駐車場条例について 多賀城駅南立体駐車場の条例を制定しました。
13	多賀城市財産条例の一部を改正する条例について 市役所西側駐車場を有料化することから条例を改正しました。
14	多賀城市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例について 多賀城駅に屋外自転車等駐車場を増築し、増築部分の使用料を規定しました。
15	市道路線の認定について 市道1路線を認定しました。
16	工事請負契約の締結について（平成27年度都市計画道路笠神八幡線に伴う雨水幹線整備工事）
17	工事請負契約の締結について（平成27年度公共下水道雨水工事（宮内-1-10工区））
18	工事請負契約の締結について（平成27年度公共下水道雨水工事（宮内-1-11工区））
19	財産の取得の変更について 鶴ヶ谷災害公営住宅の建物の取得価格が減額されました。
20	平成27年度多賀城市一般会計補正予算（第9号）
21	平成27年度多賀城市災害公営住宅整備事業特別会計補正予算（第2号）
22	平成27年度多賀城市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
23	平成27年度多賀城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
24	平成27年度多賀城市介護保険特別会計補正予算（第4号）
25	平成27年度多賀城市下水道事業特別会計補正予算（第6号）
26	平成27年度多賀城市水道事業会計補正予算（第3号）
27	平成28年度多賀城市一般会計予算
28	平成28年度多賀城市災害公営住宅整備事業特別会計予算
29	平成28年度多賀城市国民健康保険特別会計予算
30	平成28年度多賀城市後期高齢者医療特別会計予算
31	平成28年度多賀城市介護保険特別会計予算
32	平成28年度多賀城市下水道事業特別会計予算
33	平成28年度多賀城市水道事業会計資本剰余金の処分について
34	平成28年度多賀城市水道事業会計予算
35	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について 共済年金が厚生年金に統一されたことによる補償内容の改正に伴い、条例を改正しました。
36	多賀城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 家庭的保育事業等の設備・運営に関する国の基準の改正に伴い、条例を改正しました。
37	多賀城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 学校教育法で新たな学校の種類とされた小中一貫教育を行う「義務教育学校」を、条例に追加しました。
38	多賀城市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について
39	多賀城市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について 国の基準の改正に伴い、条例を改正しました。
40	工事請負契約の締結について（平成27年度公共下水道雨水工事（六貫田-1-8工区））

第1回定例会 議員が提出した議案

41	多賀城市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について 子ども医療費助成（通院）の対象年齢が現在の小学校3年生から6年生まで拡充されました。
42	子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫補助金減額調整措置の廃止を求める意見書 国の関係機関へ意見書を提出しました。

第1回定例会表決一覧

各議員が出した結論は

第1回定例会結果

案件等の番号	自由民主党							日本共産党				公明党			市	新	無	審議結果
	鈴木新津男	江口正夫	伏谷修一	米澤まき子	金野次男	森長一郎	雨森修一	吉田瑞生	中田定行	戸津川晴美	藤原益栄	佐藤恵子	阿部正幸	齋藤裕子	根本朝栄	昌浦泰巳	竹谷英昭	
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	意見なし同意
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
8	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	原案可決
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
27	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	×	○	○	○	○	○	原案可決
28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	原案可決
29	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	×	○	○	○	○	○	原案可決
30	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	×	○	○	○	○	○	原案可決
31	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	×	○	○	○	○	○	原案可決
32	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	原案可決
33	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	原案可決
34	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	原案可決
35	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	原案可決
36	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	原案可決
37	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	原案可決
38	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	原案可決
39	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	原案可決
40	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	原案可決
41	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	修正可決
42	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	原案可決

議長は公正中立の立場から表決に加わりません

表示の説明 賛成は○ 反対は× 欠席は欠
 会派名 自由民主党=自由民主党多賀城市議団 日本共産党=日本共産党多賀城市議団
 公明党=公明党多賀城市議団 市=市民クラブ 新=新世紀クラブ
 板橋議長は公正を期すため無会派になります。

賛成

厳しい財政状況の中で、更なる創造的復興と 少子高齢化社会に対応した予算

自由民主党 江口正夫

平成28年度当初予算は総額510億4700万円と、前年度比11・4%減となりましたが、依然として、大型予算となりました。財政調整基金の取り崩しは前年度に比べ減額されたものの、その額は大きく、中期財政見通しでも、その残高見込みは厳しい推移となっています。

このような財政状況の中、第5次本市総合計画の推進のために、本格的復興の加速化、少子高齢化対策・福祉の充実、地方創生戦略の施策の推進に取り組む予算編成であります。

少子高齢化対策・福祉施策として、保育所の整備による待機児童の解消、放課後児童健全育成事業、子ども医療費助成の拡大、被災者の国民保険・介護保険の一部窓口負担免除の継続、介護予防・日常生活支援総合サービス、被災者健康支援等、子どもを安心して元気に育てることのできる環境に、高齢者や被災者が生きがいを持って元気に暮らせる環境を整

えます。また、生活困窮者には就労支援や生活再建の相談等きめ細やかな支援を行います。

また、大型復興事業として、緊急避難道路建設の本格化、宮内地区土地区画整理事業の推進と災害公営住宅の完成、大区画ほ場整備事業の本格化、雨水・浸水対策の整備、「さんみらい」多賀城の津波復興拠点整備の推進等、これまで以上に大きく前進することになります。

復興の核となる新図書館を中心とした市街地再開発事業の完成により、本市が「東北随一の文化交流拠点」として、史都多賀城の認知度が高められることにより、まちの賑わいを創出し、さらなる発展が期待されます。

結びに、平成28年度当初予算は、市民が切望する「創造的復興・まちの創生」に込める編成であると評価し、賛成討論とします。

賛成

駅前開発の完成と各種事業を評価、 多賀城創生へ着実な推進を

公明党 根本朝栄

議案第28号多賀城市一般会計予算から議案第35号多賀城市水道事業会計予算まで、公明党多賀城市議団を代表し、一括して賛成討論をします。大震災発生から満5年を迎えましたが、復興も目に見える形で着実に進んでいることを評価します。再開発ビルA棟には図書館が開館し、B棟においては、

駅前保育所と子育てサポートセンターが開設され、新規事業として「1歳児育児体験事業」等を実施することを評価します。津波復興拠点整備事業では28年度も着実に整備推進する予定であり、災害公営住宅では、宮内住宅が本年12月に完成の予定であります。緊急避難路である、「清水沢多賀城線」

反対討論

賛成

新年度予算

反対

市民に開かれ、住民・被災者に寄りそった市政に

日本共産党 戸津川 晴美

及び「笠神八幡線」、また「大區画ほ場整備事業」は、計画どおり工事が進捗するよう期待します。放課後児童クラブ等のアウトソーシング並びに子ども医療費の対象年齢拡大を評価し、更なる拡大を期待します。いじめは、早期発見・初期対応にご尽力をお願いします。多賀城跡付近の着実な整備とともに、観光振興も大きな課題であり、「道の駅・物産館構想」を含めた、観光のあり方の本格的な検討が必要と認識しています。

被災者の医療費と介護サービスの自己負担免除の継続を評

価します。介護保険事業では、「介護支援ボランティア制度」の導入を評価します。下水道事業特別会計では着実な雨水工事を望むとともに「雨水流出抑制施設整備事業」を評価します。水道事業会計では「多賀城市新水道ビジョン」の計画に沿った着実な推進と鉛管の解消の取り組みを評価します。安心・安全な水を安定的に市民に提供できるよう、揺るぎない経営基盤の確立と、更なる効率化を望み賛成討論いたします。

市長からも通院小6までの子ども医療費助成拡充表明がありました。被災者医療助成継続とあわせ評価をします。また、子育てサポートセンター開設、放課後児童クラブの時間延長、城南小学校大規模改修工事継続、教員用パソコン補充、山王公民館へのクローラー設置等の予算も計上されました。しかし以下の点は看過できません。

一、震災復興では、公営住宅に入居する方は不十分ながらも家賃軽減が実施されますが、民間住宅に住む被災者にはありません。本市の小売業者は震災前の6割程度しか回復しておらず復興は今からです。政府資金をさらに有効に活用し被災者支援と復興支援の充実に求めます。

二、新図書館については、他市の例では、指定管理者に、大量の古書購入やプライバシーマーク取得放棄など様々な問題が発生しましたが、住民にはまったく意見を求めず決定しスタートします。図書館は市民に使われてこそ

の施設です。その立場から事業を注視してまいります。

三、市と市教委は、都合の悪い文書は公文書でないとして管理も公開もしないという立場をとっています。市政の主人公は市民であり、こうした態度の改善を求めます。

四、同じ被災地でも人口が増えている自治体もあります。まちづくりは見直しの余地があると考えます。

五、アベノミクスの破たんは明瞭になりました。期待することとはやめ、同政策の見直しと消費税引き上げは回避するよう政府に求めるべきです。

国保、後期高齢者、介護については政府の改善がひびきまします。

以上、災害公営住宅、下水道、水道事業の各会計には賛成し、一般会計、国保、後期高齢者、介護の各会計に反対する討論とします。

会 一 般 質 問



自由民主党 金野 次男

1 多賀城駅北地区創造について
2 特別史跡50周年記念行事事業について
3 健康づくりの推進(健康遊具)について

一問 「東北随一の文化交流拠点」核となる市立図書館等来月に開館になります。補正予算や東日本大震災調査特別委員会において説明を受けていた、約5億円の「出資額・出資者」が決定されたのかを伺います。

答 市中銀行及び民間企業、並びに市の出資額等につきまして、早期確定に向けて努力しているとのことでございますので、確定の報告がありましたら改めて御説明いたします。

二問 本年は多賀城跡が特別史跡に指定されて半世紀を迎えます。記念行事事業の構想を説明願います。

答 多賀城跡の指定と保存について紹介し、展示の会期中には、多賀城跡の発掘調査や保存に関わった方々を招いて講演会等を実施する予定です。また、この3月に新市立図書館が開館しますので、文化交流拠点にふさわしいイベント等の実施を検討してまいります。



多賀城市立図書館

三問 全ての市民が自主的に健康づくりに取り組み、健康で明るく元気に生活することを願い、公園や健康遊具(固定・移動)を設置し介護予防の充実に併せて力を入れるべきと思いますが市長の所見を伺います。

答 利用状況を勘案しながら設置できる健康遊具の種別をバランスよく選択し、高齢者の健康増進、生きがいづくりに努め、介護予防の充実を図って参りたいと考えております。

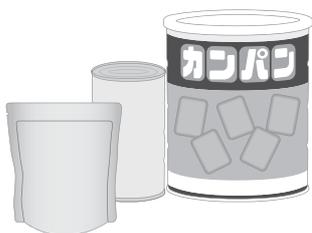


市民クラブ 昌浦 泰巳

防災教育について

一問 今年3月11日で東日本大震災から5年となります。震災後、全てのインフラが使えなくなりました。とりわけ難渋したのは、食糧と飲料・生活用水でした。急な災害に遭った時の身の処し方と心構え、いざという時の備蓄等は平時において児童・生徒に教えておくべきと考えました。震災から5年の節目の時期ゆえ質問をいたしました。①東日本大震災の経験を踏まえ、かつ、風化させないためにも保存年限間近の備蓄食糧を3月11日当日か、直近の日に給食として児童・生徒に供してはどうでしょうか。②給食と一緒に防災に関する授業を実施してはいかがでしょうか。

答 ①学校給食は学校給食法で定められた栄養管理上の基準があり、非常食単体の給食にはできませんが、給食の一部として提供し、非常食の体験学習として実施することは可能であると考えております。



②防災に関する授業は、3月11日に全ての小・中学校で行うのが時宜を得ており、理想と考えます。ただ、中学校では、卒業式や学年修了の時期であり、一律に実施できない事情がございます。小学校も、学校の行事や時間割に沿って防災教育の授業を計画しており、全校一斉とはいかないまでも、実施できるかについて、学校及び関係部署と協議してまいります。



公明党 齋藤 裕子

1 図書館の開館に伴い子供たちの読書推進について
2 観光案内所の充実について

二問 図書館開館や、多賀城インターチェンジの開通により今年から多くの交流人口が予想されます。市の観光案内所は多賀城を周知する重要な窓口であります。業務の充実を図り、予算の確保や、人的体制を整えるべきと思いますが、

答 読書活動推進のための取り組みの1つとして、「読書通帳」を導入し、市内の中学生以下の子ども達には無償で配布いたします。また、図書館の利用登録者で、手続きをすればごなでも「読書通帳」を利用できるよう、現在準備を進めております。



一問 近年活字離れが指摘される中、借りた本の履歴が預金通帳のように記入される読書通帳が子供たちの読書意欲高める効果を上げています。新図書館開館に伴い「読書貯金通帳」を発行されてはいかがですか。また、通帳がいつぱいになった時には図書カードや励みになる特典を考えてはいかがですか。

市長はどの様にお考えですか。
答 観光協会に交付している補助金は、案内業務に係る人件費のほか、案内所運営に必要な経費なども含めて予算計上しております。観光協会の自立運営や事業活動の一層の充実を図るためには、自主財源確保や、本市と観光協会との事業連携が重要であると考えておりますので、側面から観光協会を支援してまいります。

公明党 阿部 正幸

1 空き家バンク制度について
2 災害公営住宅の入居について
3 本庁舎の改善について

三問 身体障害者用駐車場から正面玄関までのスロープに屋根を設置、車イスを利用している方が雨に濡れないようにしていただきたく。

答 空き部屋が生じた場合は、原則として、被災者を対象として募集し、入居いただく考えでおります。

一問 賃貸や売却可能な物件の所有者から、その物件情報を提供する「空き家バンク制度」の取り組みをしたらいかがでしょうか。
答 市内における空家の状況について、一棟ごとの外観による調査、さらに、利用状況等のアンケートを実施しており、その結果をもとに、「空き家バンク制度」なども含めて、どのような取り組みが有効なのかを、検討してまいります。



多賀城市役所正面玄関

二問 入居資格がある方が全員入居した後でも、空き室があった場合に、東日本大震災で被災された方が優先に入居出来るようにすべきだと思いますが、いかがでしょうか。
答 設置の必要性は認識しておりますが、東庁舎は耐震性に問題を抱えており、その対策を検討しておりますことから、今後、東庁舎耐震対策の検討項目に加えてまいりますので、御理解願います。また、手すりについては、早急に改善してまいります。



日本共産党 藤原 益栄

- 1 雨水流出抑制施設整備事業について
- 2 新図書館をめぐって
- 3 駅前交通

一問 略

二問 ①2013年7月26日の市教委とCCCとの協議記録を「館長の個人的メモ」としています。今後管理はどうしますか。代る復命書は提出されましたか。②略③新館長は司書資格を持つ方ですか。④CCCにPマーク等を求めない理由に「これまでも社会教育施設の指定管理で求めてこなかった」としてありますが、Tポイントカードを導入するのでこれまでと事情が違います。⑤略⑥図書館へのTポイントカードは中止すべきです。

答 ①公文書としての取扱いをしておりませんので、保存も保管もしていません。復命書は作成され、適切に事務処理を行っております。③管理能力、マネジメント力に長け、司書教諭の資格を要する方を予定している旨報告いただいております。④個人情報保護法や本市の個人情報保護条例等の関係法規を遵守して図書館の指定業務に当たることを義務付けること

から、Pマークの認証取得を求めています。他の施設との整合を図るという意味合いではございませんので、御理解願います。⑥Tカードでも図書館が利用できるための条件を整備し、実施に向けた取組を進めておりますので、よろしく願います。

三問 略



多賀城市立図書館内



自由民主党 森 長一郎

- 1 介護予防制度
- 2 図書館の利便性アップと
- 3 成人式

一問 ①新年度より「介護予防・

日常生活支援総合事業」が実施されますが、介護予防の目的で一致する介護福祉課と健康課等で重複する事業を合理的、効率的にしているかがですか。②その為にも、介護福祉課と健康課は隣接している方が情報交換もし易く、来訪者にも調法と思えますがいかがですか。③受け皿となる市民団体、地域活動団体にどの様な支援を考えていますか。

答 ①②現在、健康課で行っている介護予防事業の業務を介護福祉課へ移管し、新たに「介護予防係」を設け、窓口の一本化、効率化を図ります。③「地域介護予防活動スタートアップ事業」、「いきいきシニアの介護予防活動促進事業」を開始するほか、「介護支援ボランティア活動ポイント事業」を実施してまいります。

二問 図書館の開館以降相当な賑わいが予測されます。利便性アップと交通の混乱を避ける為にも路

線バスの便数の増加を求めます。

答 バス運転手が不足しており、増便への対応が困難となっておりますが、状況を見極めつつ、引き続きバス事業者と協議を行ってまいります。

三問 成人式の実行委員に私立中学校卒業生等も加え更なる出席率の向上を願います。

答 今後組織される実行委員会にその旨を提案してまいります。





日本共産党 戸津川晴美

1 市民プールの利用促進について
2 交通環境の整備について

一問 水中での運動は、高齢者の健康維持と介護予防に有効です。多くの高齢者に市民プールを利用いただくために①シルバー料金の導入②1回2時間の見直しを求めますがいかがですか。

答 ①②指定管理者から利用料金の一部改定の協議が正式になされましたので、新年度からの改定に向けて、今後検討してまいります。いずれにしても、利用者のニーズを受け止め、健康増進やいきがいづくりのための活動が促進するよう、指定管理者と連携を図りながら、利用しやすい施設運営に取り組んでまいります。

二問 ①駅前以外のバス停（市民プール前）にもベンチの設置をしてはいかがですか。②多発する高齢者による交通事故防止策として、自動車運転免許証の自主返納者に、バスまたはタクシー券の助成をされてはいかがですか。③多賀城小学校入り口の横断歩道白線を早急に補修すべきです。



多賀城市民プール前

答 ①市民プール利用者が駐車場として利用していることもあるため、事故防止の観点から、ベンチの設置は見送っております。②免許証返上者に対するバス券、タクシー券等の補助の導入は、考えておりません。③既に塩釜警察署を通じて連絡しており、平成28年4月頃までには修復するとの回答をいただいております。

一問 公務・公共サービスで、アウトソーシングが導入され、賃金や労働条件が無視されるような「民間開放」が増え、官製ワーキングプアが増大する恐れがあります。「公契約条例」を制定して、まともな労働条件の確保と適正な公務・公共サービス確保を図るべきだと思いがちですがいかがですか。

答 「公契約」に対する考え方につきましては、国の責任において「公契約法」を制定し、解決を図るべきものと考えておりますので、御理解願います。

二問 八幡地区の地元の方々の「仙台防衛施設局跡地を取得し、市民のために有効活用を求める要望書」が551筆の署名とともに提出されていますが、市のその後の対応・検討結果を示されたい。市民の願いにこたえて、是非とも市が取得していただきたい。

答 跡地全体を市が一括取得することは、極めて困難な状況ではありますが、区長さんをはじめとする

地元の皆様から、「公民館に隣接している通路部分について市が取得してもらえないか。」とのお話がございました。現在、宿舍跡地の一部を購入することについては、非常に難しい交渉となりますが、協議を進めておりますので、御理解願います。



1 公契約条例制定について
2 防衛施設局宿舍跡地の取得について

日本共産党 中田 定行



自由民主党 江口 正夫

新図書館の障がい者等サービスについて

問 待望の新図書館が3月21日にオープンし、県内外から多くの人々に親しまれ、本市の「知の拠点」として、また復興のシンボルの施設として、その相乗効果により、まちの賑わいの創出に大いに期待されています。障がい者等の方にとっても、特に利便性がよく、優しいサービスや設備環境の整備は必然であります。①障がい者等のサービスをどのように考えておられるのか、その具体的サービス内容は。②指定管理者CCCグループは障がい者等が利用にあたってのノウハウをどの程度お持ちなのですか。対応マニュアルの作成は。③サピエ図書館（視覚障がい者情報総合ネットワーク）の会員として、各種図書の新規を。

答 ①拡大機を設置するほか、ボランティアルームを使用しての対面朗読を計画しております。また、車椅子に加え、ライブラリーカーを配置することとしております。②マニュアル等は作成していない



音声読書器（読むべ）と拡大読書器

ものの、宮城県聴覚障害者情報センター並びに宮城県視覚障害者情報センターに出向き、指導や助言を得ています。また、両団体から講師を招き、全ての職員・スタッフに対する研修も計画しているとのこと。③前向きに検討するとともに、必要に応じ指定管理者とも協議してまいります。



自由民主党 米澤まき子

図書館利用申込みの性別欄削除と利用券に通称名使用許可を

問 この3月に新図書館の完成と同時に交流人口の増に伴い、性的少数者の当事者の皆様への人権を考慮し、多様性への理解を示すべしと考えます。取り組める対策の提案として①図書館利用申込書の性別欄削除②図書館の利用券に通称名を使用することが可能ではないでしょうか。現在の社会制度はさまざまところで、男女の別を問いつけています。また、低年齢層が多様性の理解度を深めるきっかけにもなると思いますが、いかがでしょうか。

答 ①②図書館では、市民共有の財産である図書館資料や視覚覚醒機器等の貸出しを行うこととなりますので、これらの管理を適切に行うため、貸し出した相手方を正確に把握しておく必要があります。このようなことから、申込書に性別欄を設けていることや、カードの裏面に利用者御本人の氏名を記載していただくことは、図書館の適切な運営を図る上で、また、多

くの市民の皆様の期待にこたえる図書館として様々なサービスや事業を展開していく上で必要と考えております。現在のところ、従来からの取り扱いを継続したいと考えておりますが、この件につきましては、市全体に関わる問題でもありますので、今後、協議していく課題であると認識しております。



図書館利用申込書



自由民主党 雨森 修一

1 多賀城南門復元計画について
2 多賀城駅前交番早期実現について

一問 平成28年度予算説明の中で、南門復元計画平成27年、28年度の実施見直しとして6271万円が計上されています。多賀城創建1300年(平成36年)南門復元完成を目指し、計画が進められていますが、復元計画の内容について5点伺います。①南門復元は実物大復元ですか。②南門復元の総事業費は。③南門復元後の維持管理は。④南門復元計画について市民の声を聞いていますか。⑤南門復元後、多賀城の観光客による経済面にプラスになりますか。

答 ①これまでの発掘調査と建築学的研究成果に基づき、意匠・材料等も含めて、実物大の復元となります。②平成28年度に予定している実施設計の見直しにより、総事業費の見込額が算出されますので御理解願います。③④⑤来年度の実施設計の見直しにより、復元範囲等が確定し、総事業費の見込額が算出されますので、その後、計画の具体的内容や費用対効果など、様々な状況を市民に説明し、広く意見をいただきながら、本事業について検討してまいります。



多賀城南門(復元イメージ)

二問 市民の長年の願い駅前交番化について説明願います。

答 新図書館等の開館を控えており、交流人口の増加とともに駅前周辺の治安を維持し、安全安心を確保していくために、年内の開所に向けて、取り組んでまいります。

三問 略

一問 ①震災5年目を迎えますが、個々の被災者、小規模事業者にとって復興は途上です。再建のための支援を中断することなく進めること。また、被災者医療の一部負担免除が継続されましたが、県に対して引き続き財政支援を強く求めること。②今後みなし仮設から賃貸住宅に移らざるを得ない方々に災害公営住宅の家賃軽減策に準じた家賃補助を実施されたい。

答 ①これまでと同様に、被災世帯の状況把握のもと、被災者に寄り添い、きめの細かい被災者支援を一定期間継続し、生活再建を支援してまいります。また、一部負担金免除等についても、今後とも継続して強く要請してまいります。②家賃軽減策ではありませんが、被災者生活再建支援制度の加算支援金が国から支給され、住宅再建等に要する経費の一助となっております。



鶴ヶ谷災害公営住宅

故が発生しています。JXと県、本市等関係6市町は公害防止協定を結んでいます。JXに対して事故防止のための抜本対策を講じられたい。

答 関係6市町で協議会を設置しておりますが、協議会の担当課長会議開催の機会などを捉え、事故防止を求めてまいります。



日本共産党 佐藤 恵子

1 大震災から5年、今後の施策
2 JX仙台製油所防災対策
3 消防団員確保、支援

二問 JX仙台製油所は昨年と今年1月までに10回も火災を含む事



自由民主党 鈴木新津男

宮城東部衛生処理組合への
ごみ搬入について

問 ①市民がごみ焼却場に直接搬入する場合の許可申請を、市民の利便性を図るため組合施設内に一本化すべきです。②直接搬入の許可が組合構成の1市3町で統一した基準にすべきです。③直接搬入者の手数料を50kgごと500円のチケット制から電子マネー方式を採用して1kg10円に改善すべきです。④直接搬入者のごみの総量はいくらですか。また手数料収入はいくらになっていますか。資源物のごみの売却収入は、どのような会計処理になっていますか。

答 ①③今後、宮城東部衛生処理組合を構成しております3町及びび組合と、意見交換してまいります。②各市・町の許可権限に基づき運用されているものでありますので、回答は差し控えています。④本市における平成26年度の直接搬入者によるごみ搬入総量と手数料収入につきましては、搬入量は約1千5百トン、手数料収入は約6千万円となっております。

また、資源物の売却収入につきましては、収入の一部を年度ごとの負担金の減額に充てるとともに、今後の施設整備の財源として基金を設け、積み立てることとしており、負担金の削減につながるものであります。



市民の直接搬入車両 (宮城東部衛生処理組合)

待望の新図書館がオープン



テープカット

平成28年3月21日、新図書館のオープニングセレモニーが開かれ、「ブライトキッズ」によるお祝いの演奏に続いて、市長・来賓によるテープカットが行われ、多くの市民が入館されました。(初日A棟入館者数1万1,850人)

新図書館は創造的復興のシンボリック施設として、また市が取り組む東北随一の文化交流拠点の核となる「知の拠点」として、120万人の入館者と50億円の経済効果が期待され、新たな賑わいの創出が大いに期待されています。

(リポーター 江口正夫)



ブライトキッズの演奏



来館者の状況

あんなこと

こんなことと議論の足跡

議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、ひとつひとつ質疑を通して審議を深め、採決に臨みます。

第1回定例会では、予算特別委員会における当局との間では主なものとして次のような質疑が行われました。

平成28年度当初予算について

質 今年度当初予算の特色について伺います。

答 新図書館、子育てサポートセンターの完成等により、前年度当初予算より、大幅に減額となりました。今年度も財政状況は引き続き厳しく、中期財政も厳しい見通しでありますので、これまで以上に、財政の健全化、安定した財政運営のために、震災以前の通常の財政状態に軸足を切り替えていく必要があると、認識しています。

質 今年度の特徴的な事業について伺います。

答 厳しい財政状況の中で、以下の事業が特徴的な事業として挙げられます。私立保育所の設置が近年増加しており、施設型給付金の助成が増えていること、大区画ほ場整備促進事業が本格的に着手されること、城南小学校の大規模改造事業が最終年度となること、浸水対策としての雨水流出抑制施設整備の補助制度を新設すること、新規事業として1歳児育児体験事業を実施すること、放課後児童健全育成事業の拡充すること、などです。

質 復興事業の執行残は、本市の他の事業に使用できるのですか。

答 26年度末で16事業が完了し、約

4億4千万円の執行残がある旨を国に報告しています。

国へは、毎年度末に執行状況の報告が義務付けされており、全事業が終了した時点で、執行残は全額、国に返納することが求められており、簡単に流用または自由に使えないことになっていきます。

公共交通について

質 JRとバスの乗り継ぎ時刻について。

答 3月に予定されているJRダイヤ改正にあわせて、乗り継ぎしやすいようにバスのダイヤ改正も検討します。

質 70歳以上の高齢者の運賃を半額にするなど、敬老バスによる高齢者支援について。

答 現段階では考えていません。

質 ヤマザワなど城南地区への運行について。

答 バスのダイヤ改正にあわせて検討します。

市税収納の利便性向上について

質 本市の市税収納率は高い状況ですが、現在の収納方法は、銀行やコンビニでの振替のみで、郵便局窓口での納入はできません。郵便局窓口での振替ができるようにしていただきたいと思いますが、いかがですか。

答 郵便局では、口座からの振替は可能ですが、現在通常送付している納税通知書では窓口での振替はできません。希望する方には、市が郵便局で使用できる振込用紙を発行しますので、お電話でご連絡ください。



郵便局で使用できる振込用紙

板倉について

質 今まで歴史的風致形成建造物保存活用助成金を適用した板倉は何件ありますか。

答 今まで助成金を出して保存したのは18件です。

質 この18件をどのようにして多賀城の観光に生かしているのですか。

答 26年に市民を対象に地権者の了解を得て板倉巡りを開催しました。昨年は南宮公園に板倉を一株移設し、市民の皆さんがいつでも見学できるようになっています。

質 歴史的風致維持向上計画の目玉事業なのですか。

答 昔から営まれた文化、生活、景観といったものを将来にわたって残していこうという計画です。特に、南宮、市川地区には板倉といった歴史的建造物があることで国から認められています。



南宮公園の板倉

認知症に伴う徘徊対策について

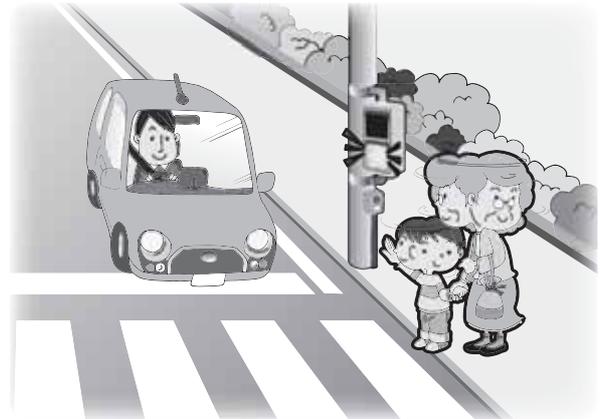
質 他市では徘徊対策に認知症の方に住所、氏名、連絡先を書いたペンダントを身に付けて頂いているところもありますが、28年度本市においては認知症の方の徘徊対策はどのような施策を考えていますか。

答 認知症サポーター養成講座を推進しています。27年度は中学生に受講してもらいました。今後は、小学校での開催も考えていさながら、市民全員がサポーターになって頂ける様に進めて参りたいと思います。また、認知症の方へのペンダントは、本人が嫌がるケースや、家族が個人情報の観点から望まないこともあり、何が一番良いかと模索しているところで、今、東部包括支援センターが、試験的に、鍵や杖などに、キーホルダーを用いて、片面に行政区名と登録番号を、片面には地域包括支援センター名と電話番号を記載し通報して頂くシステムをモデル的に実施し、効果の検証中であり、色々な施策を検討中です。

道路の安全確保について

質 主要地方道泉塩釜線浮島のT字路に信号機の早期設置を要望しますが、今後のお考えは。

答 平成14年より信号機設置の要望があり、市としても危険性を鑑みて、毎年塩釜警察に要望を重ねております。今後も要望を続けてまいります。



質 人身事故が多数発生している、多賀城でも危険な場所であり、一部通学路にもなっていることから、重要課題と捉えてはいかがですか。

答 市としても最も危険な場所と認識しておりますので、強く要望してまいります。

中央公園整備事業について

質 駐車場整備は普通車両だけですか。

答 普通車56台（うち身障者用2台）、大型観光バス用10台です。

質 あやめ園来場者のための整備ですか。

答 運動利用者にあやめ園への来場者を想定しています。



試験中の認知症徘徊対策グッズ（キーホルダー）



震災復興

浪分け桜植栽



植栽中の浪分け櫻

平成28年2月25日(木)多賀城駅北口ロータリーに、一般社団法人宮城県造園建設業協会多賀城分会会員有志8人のみなさんによって「浪分け櫻」が植栽されました。このことについて、分会員の菅野俊之氏にお話をうかがいました。

浪分け櫻の植栽は、県内被災地への浪分け櫻植樹を進めている「はなはなプロジェクト」の皆様から多大なるご支援、ご協力をいただき、東日本大震災からの復興のシンボルとして進めてきました。3月18日(金)に中心市街地形成事業の完成記念にふさわしい植樹式が執り行われました。

浪分け櫻は推定樹齢約25年、樹高8m・幹周0.6m・枝張り4m内外のシダレザクラで、京都府在住の桜守である第16代佐野藤右衛門氏が所有されてきました。氏のご厚意により遠路はるばる京の都からの嫁入りとなった逸品です。

年を経るごとに大きくなり可憐な花を沢山つけてくれ、新しい多賀城駅と史都・多賀城の時間経過をデザインしてくれるでしょう。

このシンボリックなザクラを皆さんと一緒に温かく、かつ寛容な心で末永く見守っていききたいと切に願っています。

(リポーター 鈴木 新津男)



記念碑の裏面





今回の表紙



『2016 多賀城世界絵本展』

3月19日～30日まで多賀城市文化センターをメイン会場に盛りだくさんの様々なイベントが開催されました。その中のメインである「世界絵本展」を、取り上げさせて頂きました。

3月23日～30日まで創作室を会場に、世界80カ国、70言語、500冊余りの絵本が展示されており、普段は見ることの出来ない世界の絵本を直接手に取り、触れることの出来る展示となっておりました。期間中には外国の方の絵本コンシェルジュが多言語による絵本の読み聞かせも行われ、子供達の興味をひいていました。仕掛け絵本や、3D絵本に親子で楽しむ姿も多く見られ、印象深かったのは、点字、点訳の本で、制作に携わった方の心を感じ、来場者の60代男性の方は、初めて出会う世界の絵本に触れ、面白さと、新たな感動をさせてもらったと話されていました。

国が違えば文化や歴史の違いはありますが、絵本を通して見れば世界は一つ、絵本には世界共通の平和な世界があり、大きな表現を持っていると感じさせられた世界の絵本展でした。

(リポーター 齋藤裕子)



私もひとこと

議会を傍聴したみなさんからの感想や意見です。

18歳参政権に関しては最大限の努力をせねばとの感を強くしました。

佐藤 勇雄さん（浮島在住）

新図書館運営についての教育長の答弁は、市民のプライバシーを守ることに
ついての認識が甘く、不安を感じた。さらに教育委員会の姿勢が市（当局）全
体の姿勢につらなっているのではないかと疑問が積もってきた。

小山 功さん（伝上山在住）

消防団員が少ないことが問題となっている今、団員を優遇するような制度が
あれば良いなと思いました。

少ない予算の中でうまくやりくりするには、本当に必要なものは何なのかを
現場の人々にヒアリングすることが大事だと思います。

私自身、消防団員になることに興味がありますが、命をかけることであるの
で普通のボランティアのように気軽に参加できない気がしています。

齋藤 祥吾さん（七ヶ浜町在住）

将来税金を納めることになるので、どのようにお金が使われるのかを知るこ
とが出来、良い経験になりました。

金澤 菜世さん（東田中在住）

議員の皆さまは多賀城市を良くしていきたい、という気持ちが強くと、白熱し
ていた部分もありましたが、それくらい強いのだなと思いました。

長田 わかなさん（仙台市在住）

私もひとこと



編集後記

夏目漱石の孫にあたる末利子
さん、半藤一利さん（作家）ご
夫妻のインタビューが雑誌に掲載され、興味深く読んでいくと
夏目家は、こういう、うちなん
だなと思わせるエピソードがあ
りました。母の筆子さんは明治
の女性ですから、漱石には敬語
しか使わなかった。又、漱石の
肖像が千円札になったというニ
ュースを母がテレビを見ていて
「なぜ、私の父が千円札なんで
しょうか、うちはお金持ちじゃ
なくて、慎ましい生活をしてい
たのに、なんでお札になるの」
と。半藤さんが大蔵省に確認す
ると「著名な方の年齢順」とい
う回答だったそうです。
震災から5年目にあたる28年
度の予算は、慎ましいとは言え
ませんが、必要な事業・新規事
業と慎重に審議した結果です。
ぜひご覧ください。

（米澤 まき子）

●広報特別委員会

- 委員長 昌浦 泰巳
- 副委員長 戸津川 晴美
- 委員 鈴木 新津男
- 委員 江口 正夫
- 委員 米澤 まき子
- 委員 齋藤 裕子